

## 令和5年度 第1回 湖南省地域公共交通会議 議事録

【開催日時】 令和5年6月8日（木） 午前9時15分～

【場 所】 サンライフ甲西2階大ホール

【出席者】 委員24名（途中入場2名含む） 欠席者3名

### 【議 事】

#### （1）報告事項

報告第1号 委員及び自動車部会委員の選出について

報告第2号 湖南省地域公共交通会議財務規程の制定について

#### （2）協議事項

第1号議案 令和5年度事業計画（案）について

第2号議案 湖南省地域公共交通会議収支予算（案）について

第3号議案 湖南省予約制小型乗合自動車実証運行事業について

その他

閉会あいさつ

### 議事概要

#### 開会

事務局：出席22名で、会議は成立している。

#### 1. あいさつ

井上会長：お忙しいところ感謝する。次年度より、バス等の運転士のハンドル拘束時間が短縮される。安心安全な運行のための対応であり、バス運転士が増えない限り、現状の運行本数が維持できなくなる。そうした状況下で、バス事業者も頑張っているが、利用の少ない路線は切らざるを得ない状況にあり、こうした状況は、京都市内でも同様である。不便でも折り合いを付けつつ地域公共交通を利用していかなければならない時代である。湖南省では、湖南省らしい公共交通として、皆が望む、でも少しお互いに気をつかいあうような地域公共交通を目指せればと思う。

## **2. 議事**

### **(1) 報告事項**

#### **報告第1号 委員及び自動車部会委員の選出について（資料1-1、1-2）**

事務局：資料により説明

井上会長：質問、意見はあるか。説明内容に則り進めていただく。

#### **報告第2号 湖南省地域公共交通会議財務規程の制定について（資料2）**

事務局：資料により説明

井上会長：質問、意見はあるか。本日より施行としてよろしく願う。

### **(2) 協議事項**

#### **第1号議案 令和5年度事業計画（案）について（資料3）**

井上会長：第1号議案、第2号議案をまとめて、事務局より説明願う。

事務局：資料により説明

#### **第2号議案 湖南省地域公共交通会議収支予算（案）について（資料4）**

事務局：資料により説明

井上会長：質問、意見はあるか。今年度は地域公共交通計画策定が主な中身になる。本計画は重要であり、今後5年間の地域公共交通のマスタープランとなる。この計画を策定すれば、行政や交通事業者に全て進めてもらえるというのではなく、地域の協力が重要となる。皆で支える、利用する、ということが宣言できる中身になればよい。皆さまの地域公共交通利用経験に基づき、ご意見をいただきたい。

湖南省のバス時刻表は、読みやすく見やすいもの変わったと感じる。乗り方まで掲載されており、利用しやすいインセンティブになる。改善に向けた意見があれば伺いたい。

中澤委員：地域公共交通活性化について、初めて読んだため、お話をうかがいたい。地域公共交通利用者の対象は、市民が原則か。

井上会長：利用者全員であり、市民のほか、観光客等も含む。

中澤委員：観光客や健常者、障害者等を含むと承知した。

井上会長：本会議では、観光動向等情報提供をいただき、地域公共交通施策の改善に繋げていきたい。

中澤委員：今後は、観光に力を入れていきたい。甲西駅を降りても交通手段がないという意見を頂戴している。これを機会に改善が図れればと思う。

東峰委員：観光、商工業振興に取り組んでいる。今後の観光・商工業振興のなかで、路線再編をこうした振興の手段として、有用なものになるよう、生み出していただきたい。ニーズ調査は、どのように実施するのか。また、観光、商工業振興等において、ニーズを把握いただけるのか。甲西駅では、鉄道降車後の観光路線がない。甲西駅は、湖南三山駅の愛称設定を検討しているが、湖南三山路線設定等を要望したいと考える。

事務局：地域公共交通計画策定のなかで、利用者調査等を予定している。観光にかかる調査は現時点で予定していないが、ご指摘の視点も踏まえ協議を進めたい。

井上会長：利用者アンケート実施を通して、来訪者の意見をあわせて把握し、意見を推察していくことになると考える。

田中委員：地域公共交通計画策定にあたり、国では、地域公共交通を交通事業者のみでの維持が難

しくなっていると認識している。観光、商業と一緒に、というお言葉はありがたい。国では、“共創”の考え方を示しており、共に進めていただきたい。

バス、タクシーでは、乗務員不足が進んでいる。なり手のほか、なろうとする人が減少している深刻な状況にある。なろうとする人を増やす施策を本計画策定にあわせてご検討いただきたい。

井上会長：他自治体でも、担い手不足への対応に知恵を絞っている。市内外の方の意見を踏まえつつ、湖南省として実施できることを考えていきたい。

本議案2件は、承認としてよいか。

一同：異議なしの声。

井上会長：本議案2件は承認とする。

### **第3号議案 湖南省予約制小型乗合自動車実証運行事業について（資料5、5-1、5-2）**

事務局：資料により説明

井上会長：質問、意見はあるか。また、ご乗車いただいた方は、感想をお伺いしたい。

小森委員：数年前に乗合タクシー導入をご提案した際は、費用面等が課題となり導入できなかった。

今回コロナ禍にあって導入されたが、利用者側からすると、一部エリアのみでの導入であり、他エリアはこれまで乗用タクシーを利用していた方も予約が取れない状況となっている。なかには「1か月前に予約がなければ利用できない」との対応を受けた方もいると聞いている。病院送迎を親族がしているという状況もあり、問題が発生している側面もある。このまま本格運行に至るのは課題が大きいと感じる。

事務局：タクシーの台数不足による利用者にとっての不便さは、最近よく耳にするようになった。乗合タクシーは2社に委託しており、計26台が稼働している。乗合タクシーは、予約に応じて迷惑がかからないように対応いただいているが、このままこの制度を拡大すると、将来的には台数不足が予測される。また、利用が増えるということは、従来と同様の乗合バスのほうが、コストが安く、また確実に利用いただける利点もある。今後の課題と認識し、検討する。

小森委員：まだ解決の道は遠いのかなと感じる。バス乗務員不足もあることから、都市部でも車両を小型化するなど、乗合タクシーの今後の展開について、事業者とも協議をいただきたい。

中澤委員：滋賀運輸支局へ国の方向性をお伺いしたい。湖南省における乗合タクシーは、財政的には継続すると破綻する可能性が高いと感じた。中華人民共和国では、スマホで呼べる白タクを良く利用している。ベトナムでは、人が多くタクシーが不足するため、Grabが無くてはならないものになっている。日本では、タクシー不足を鑑み、湖南省でもGrabのようなサービスの導入により、有償での自家用車運送ができるとよいと考えるが、どうか。

田中委員：湖南省では、道路運送法第4条に基づくバス・タクシーを活用いただいております。一方で、交通事業者のみでは交通が守れなくなっている。ご質問いただいたライドシェアは、日本においては、持続性や安全面からすぐわないという方向性を持っている。緑ナンバーを取得し、安全にコストをかけている事業者に加え、自家用有償旅客運送事業や、許可不要の地域ボランティア輸送のやり方もあり、様々に組み合わせて地域の交通を守っていただきたい。また、企業送迎やスクールバスへの地域住民の混乗も可能性があるほか、AIオンデマンド、自動運転等の新技術活用も道があると思う。

中澤委員：すぐには白タクの導入は難しいと理解した。新技術の活用は成功例が少ないが、湖南省として自動運転導入の計画はあるか。

事務局：湖南省では、自動運転の検討をしていない。自動運転は、安全面等でのハードルがあり、

これをクリアしない限りは導入が難しい。特に交通事故面で十分な考慮が必要である。

中澤委員：四方でハードルが高いが、どこかで乗り越えなければ解決しない。継続して勉強したい。

園田委員：運転手不足への直接的な解決にはならず、少し話がずれるかもしれない。数年おきに各種団体の意見聴取会を設定いただいている。障がい者団体では、福祉と交通が概念として整理できていない。市民からは、バス増発やバス停の300m毎の設置等の要望がある。一方で、路線バスでは不可能な部分であることから、乗合タクシーはその1方策であり、充実を願う。乗用タクシーは、予約がしにくいという話はよく耳にするほか、乗用タクシーは、市からの補助があるものの運賃等の負担が大きいとのことである。地域公共交通の枠には入らないが、利用者が制限される福祉有償運送も運行されている。本計画への記載有無は別にして、地域公共交通と福祉交通が連携して、ドアツードアに近いサービスを検討いただきたい。

事務局：地域公共交通と福祉交通の境目は議論になる。利用者にとっては、福祉ニーズが大きい印象がある。事務局としては、地域公共交通としての機能を守ることが重要との立場である。利用には、一定の負担を前提としたうえで、例えば、昼間の利用が少ない時間帯では、福祉部局と連携して福祉交通として移動に活用いただけるなどの連携を図りたい。

園田委員：おそらく、朝の時間帯が大変であり、朝には乗合タクシーも乗用タクシーも予約がいっぱいであるという声を聞いている。福祉有償運送でも余裕があるわけではないが、地域公共交通と連携を図ればよいと考える。

井上会長：地域公共交通計画は、輸送資源総動員を目指し、様々な連携、共創を図るものである。朝の時間帯が大変という意見を踏まえ、湖南省のラッシュ時の輸送形態構築を検討していきたい。

園田委員：よろしく願う。雨の日が大変である。

福島委員：資料5-1について伺う。一般に、乗合バスから乗合タクシーへの転換では経費が減少することが多いが、資料5-1をみると、1人あたりの追加経費は、乗合タクシーが1,130円/人、バスが260円/人となっている。コミュニティバスの利用人数と運行欠損の数字は、資料5と異なるが、市全体の数字を使用しているのか。

事務局：ご認識のとおりである。

福島委員：乗合タクシーに転換した路線に限定した算出は、できないか。

事務局：路線別の値は、走行距離等での按分算出しか方策がなく、正しい数字の算定が難しい。

福島委員：承知した。

井上会長：仮想的な値として、乗合タクシー実施前の人数と距離での按分という方法もあるが、結果は本資料と類似するものになるかもしれない。

西川委員：湖南工業団地内で実施された実証実験（令和4年11月～翌年1月）の結果は、報告されないのか。

事務局：ご質問の件は、県の事業である。県より、4月にデータを受領し、(公社)湖南工業団地協会に提供している。

西川委員：承知した。

野村副会長：地域の交通資源組合せと最適化が課題になる。既存のバス、タクシー活用が第一方策であるが、人手不足を踏まえ、企業等の送迎輸送の活用も想定される。まず優先順位は、既存のバス、タクシー活用であり、乗車体験会等のモビリティマネジメントに取り組むのがよいと考える。「共創」にむけては、行政主導だけでなく、地域主導によるニーズ調査やお出かけツアー等のアイデアと、車両等の物質的資源の組合せが重要と考える。ライドシェアの質問があったが、地域によっては、事業者協力型自家用有償旅客運送のよ

うに、交通事業者が関わりつつ、住民主導で進めるハイブリッドな方法もある。アイデアを住民、市民、企業等から発案いただければと思う。

井上会長：資料5について、いくつか視点を設定して述べる。

第一に、デマンド運行の是非からみると、デマンド交通は、本来利用頻度が少ない路線での導入が筋であり、毎日運行するものであれば、バスでよい。データをみると、ほぼ毎日運行があり、さらに複数台での運行が必要となっているのは本末転倒である。

第二に利用者側の視点からみると、ドアツードアがよい、“お抱え運転手が付いた無料の交通が欲しい”という要望があり、齟齬が生じている。コスト的にしんどく、利用者が少ないから乗合タクシーを導入した結果、バスと同程度の利用者数となっている。そうであれば、皆が確実に乗車できる乗合バスのほうがよいとも解釈される。

第三に、湖南省独自事業である、高齢者向けの無料乗車券配布がバイアスになっている。乗合バスから乗合タクシーへの転換により、利用者数は変わらない一方で、収支率は大きく落ち込んでいる。「無料のタクシーがある。ラッキー。」という発想での利用があるものと推察される。乗合タクシーでは、相応のご負担をいただいて実施すれば、収支結果は変わる可能性がある。自治体の判断の領域であり、他自治体でも、高齢者には無条件で無料化する事例がみられるが、納税者側からすると、声には出さなくても、それでよいのかと考えているはずである。自治体によっては、所得に基づきサポートしている事例もある。皆で議論していければよい。

第四に、OD データをみると、イオンタウンが生活になくってはならないものとなっていることから、イオンタウンを拠点としたバスネットワークの再構築が一方策として考えられる。加えて、駅への接続需要や、役場への需要も多い。一方、ここで懸念するのは、駅から駅への移動がみられるという点である。これは、JR 草津線の需要を減少させているということである。利用者にとってはよいが、JR にとっては、更なる減便の可能性につながる。目の前の課題は解決しても、今度は JR 草津線の瓦解というより大きな課題の可能性が指摘でき、注意して分析のうえ、今後の運行計画を検討いただきたい。

守山市では、高齢者等無料のデマンドタクシーを実施している。自宅から役場、駅、商業施設等の目的地間の移動に限定したサービスとして開始した。運行開始後に要望をうけ、目的地間の移動を解禁したところ、利用が増加した。一方で、守山市内で販売している路線バスの高齢者向け定期券の売上が激減した。乗合バスは、皆で利用して支えているが、一部の方が抜けると、その分減収となり、残った利用者が困ることになる。こうした課題があることをご参考いただきたい。

甲賀市では、高齢者無料の乗合タクシーにより、片道4千円の運賃が無料となる。困っている方の支援は重要だが、そのお困り具合の程度は要検討である。身体等に障がいがある「しんどさ」と、体力的な「しんどさ」は異なる。お困り具合をくみ取り、本当に困っている方をサポートできる内容にしたい。

他に質問、意見はあるか。第3号議案は、承認としてよいか。

一同：異議なしの声。

井上会長：本議案は、承認とする。

### **3. その他**

#### **(3)その他：菩提寺小学校バス停について（資料7）**

事務局：資料7により説明。

#### 4. 閉会あいさつ

奥村副会長：長時間の審議に感謝する。特に予約制小型乗合自動車運行事業については、持続的な運行に際して見直しが必要との協議となった。今後、様々な分析を重ね、決定していきたい。本日の協議に感謝する。

以上